

【神奈川県概要】

1 水稲

(1) 神奈川県における令和2年産水稲の作付面積（子実用）は2,990haで、前年産に比べ50ha減少した。
また、主食用作付面積は2,990haとなった。

(2) 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数が少ない、1穂当たりもみ数がやや多いとなったことから「少ない」となり、登熟は、全もみ数が少ないことによる補償作用及び出穂期以降の天候が良好に推移したことにより「やや良」となった。

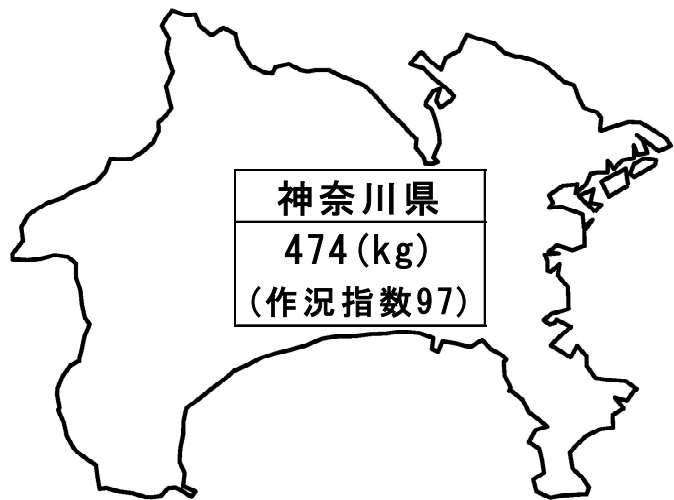
(3) この結果、神奈川県の10a当たり収量は474kgで、前年産に比べ4kg増加した。
なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された神奈川県の作況指数は97となった。

(4) 以上のことから、収穫量（子実用）は1万4,200tで、前年産に比べ100t減少した。
また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は1万4,200tで、前年産に比べ100t減少した。

2 陸稲

本年産については、主産県を調査の対象としているため本県の調査は実施していません。

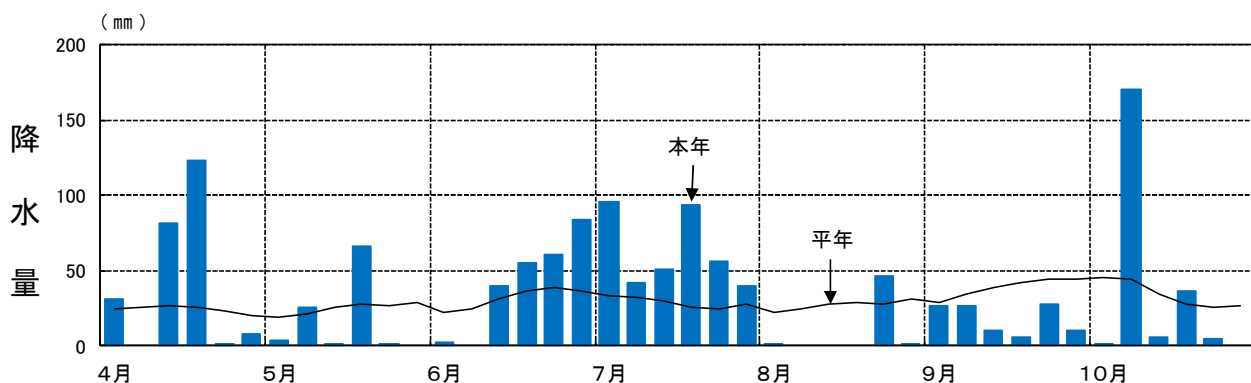
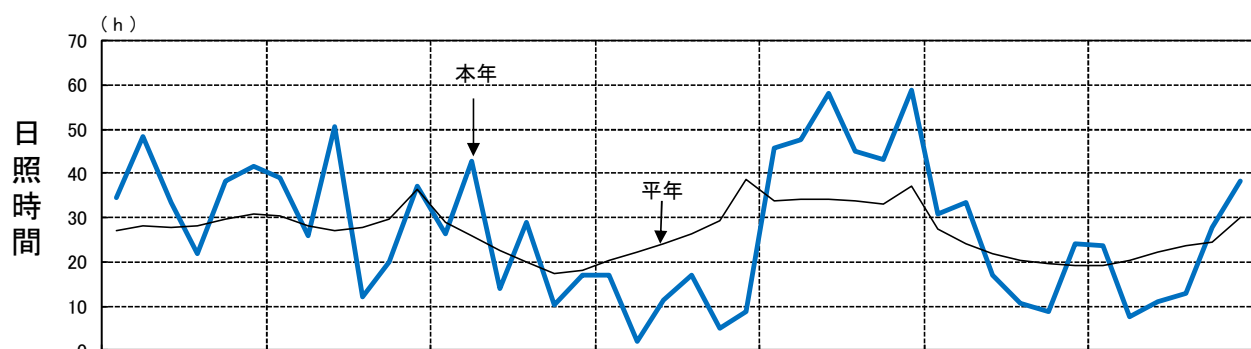
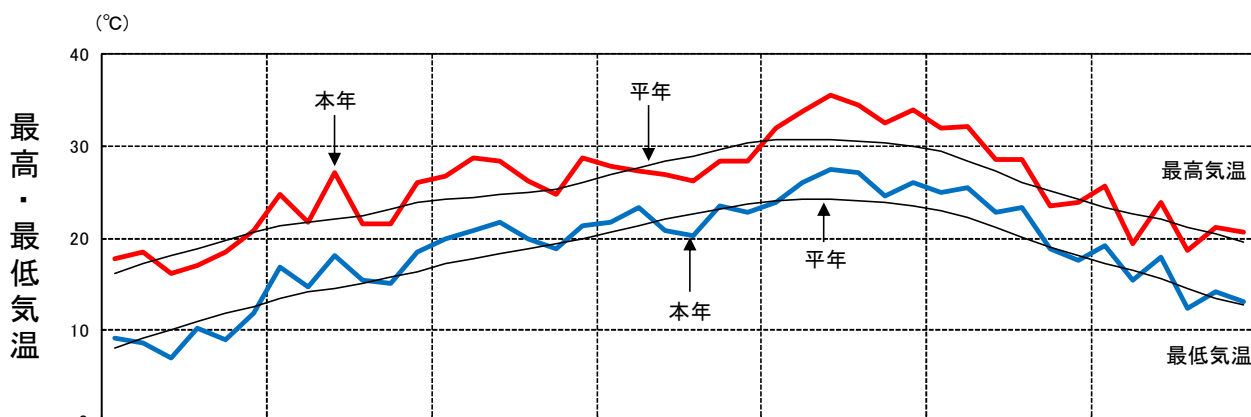
図 水稲の10a当たり収量及び作況指数



○ この資料は、「令和2年産水陸稲の収穫量（関東農政局管内）」12月9日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和2年 半旬別気象（横浜）



資料：気象庁



注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。
 なお、()内は、平年との遅速(日数)を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 神奈川県拠点 統計チーム
 電話：045-211-7174
 F A X：045-212-4680